

条件反射制御法 講義 2

第一信号系の特性 重要図

第一信号系の重要な3つの特性

1. 世代を経て、適応してきた。

先天的な反射は進化的に変化する。

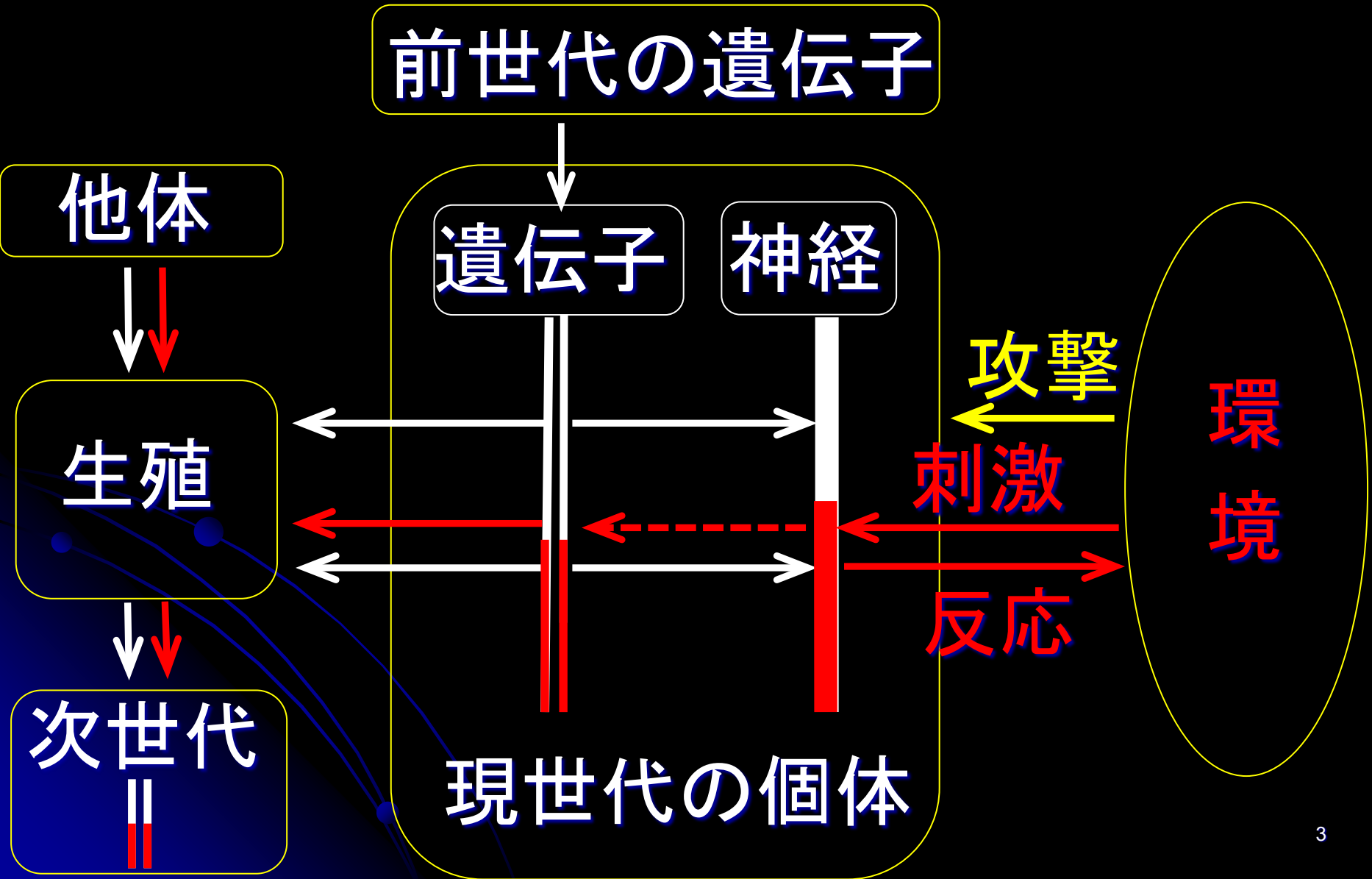
2. 季節の変遷に適応してきた。

一旦抑制されても放置されると回復する。

3. 育った環境に適応してきた。

過酷な環境で育てば、過敏になる。

進化を説明したダーウィンとパヴロフ



現実の反復行動

■ : 先天反射

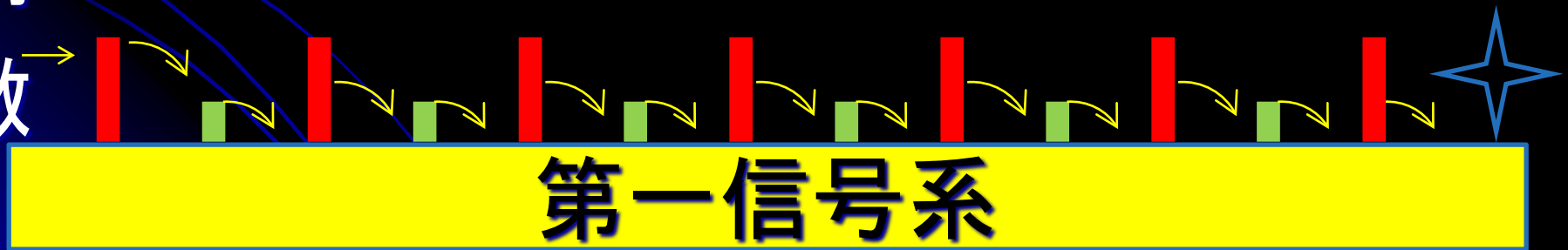
■ : 後天反射

刺激



現実の反復行動で失敗

刺激



第一信号系

平原の鹿の行動

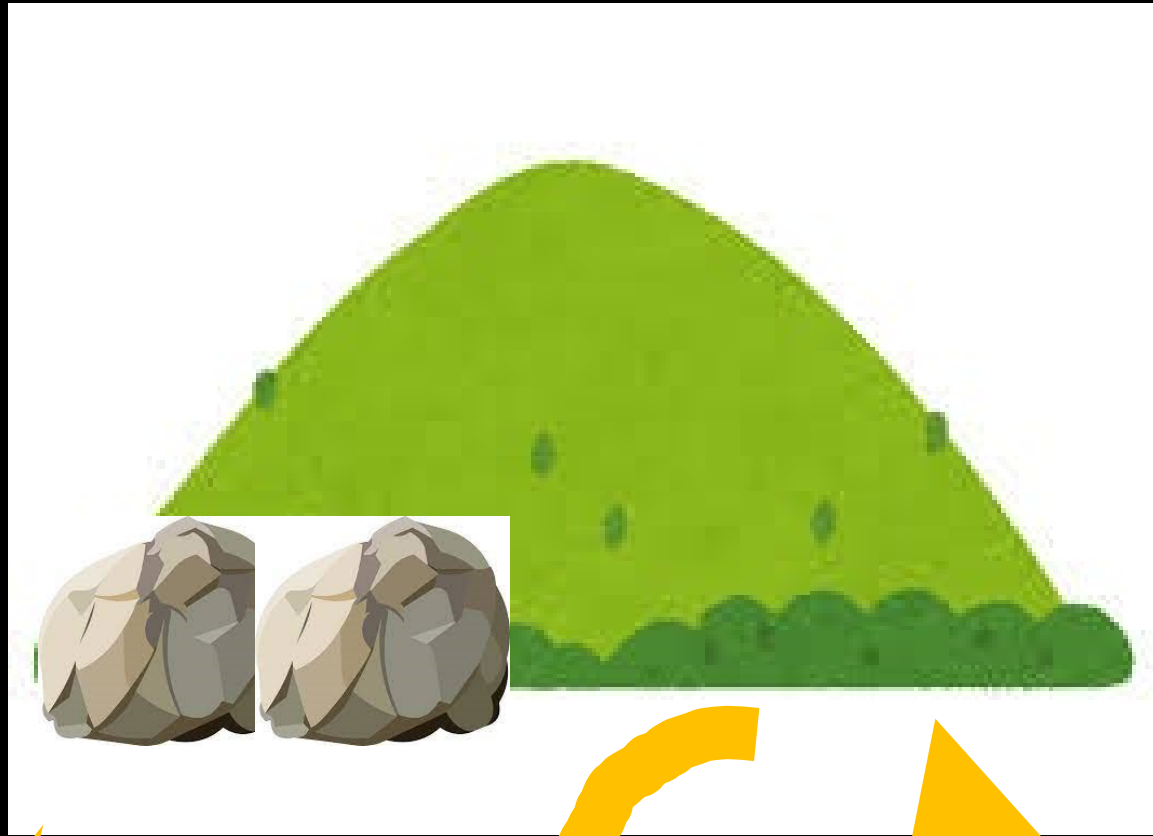
春と夏

刺激：常緑樹

反応：山に行く

報酬：草を食べる

反射作動性：高



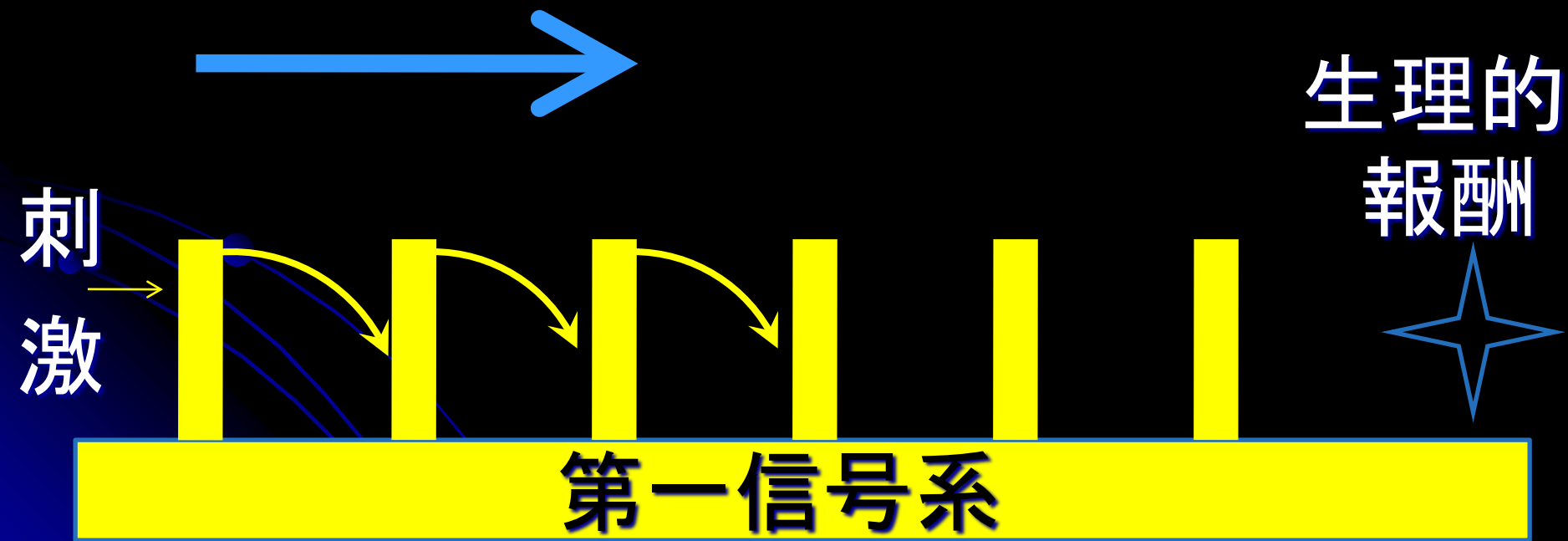
平原の鹿の行動を司る反射の変化

- 1) 春と夏に、山の常緑樹を見て(刺激)、
山に行き(反応)、草を食べる(報酬)。
- 2) 秋に、山の常緑樹を見て(刺激)、
山に行き(反応)、草がない(報酬無)。
山に行かなくなる(抑制)。
- 3) 冬に、雪で山の常緑樹を見ず(刺激無)、
山に行かない(....)。
- 4) 春になって、山の常緑樹を見て(刺激)、
山に行き(反応)、草を食べる(報酬)。

第一信号系の作動性

生きる。種を保存する。

進化を支える。



第一信号系の作動性

生きる。種を保存する。死なす。種を滅ぼす。

進化を支える。進化を妨げる。

